



【受講者様の声】

石井修を通じて、相手の立場に立つて接するだけでなく自分の言動、行動力を整え見直すことが接遇になることが出来ました。接遇の相手は、患者以外に関わる人すべてが対象であると再確認でき、今から意識していきたいと思いました。

医療におけるサービスとは治療以外の接遇の場面でも目で見える形にしておく事がより良い病院になるのだと学びさせて頂きました。今までは職員間での接遇について気にしてはなかった部分があったと気付かされました。

声をかけられた時、今まで自分はどのような表情をしていたのか？「あいつ」は出来る方だと思っただけで相手に気持ちよく伝わっているか？まだ意識は少なかった。ことに反省しました。社会人として常に見られていることを意識する必要がある！

○ 石井さんの練習の段階で是非とも一と明らかにしました。

○ 常に見られている、聞かれているという意識を低く保ちました。